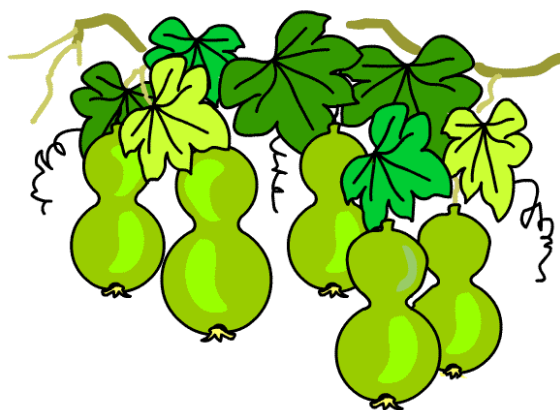


青春満載！第3弾 「青年団の力を信じて・・・」

ヒョウタンは地球を救う

—0B あきらと高校生かおるの場合—



企画・編集・発行

一般財団法人 愛知県青年会館

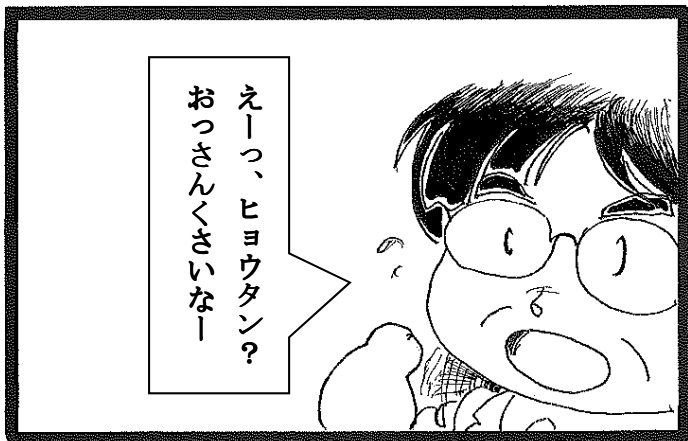
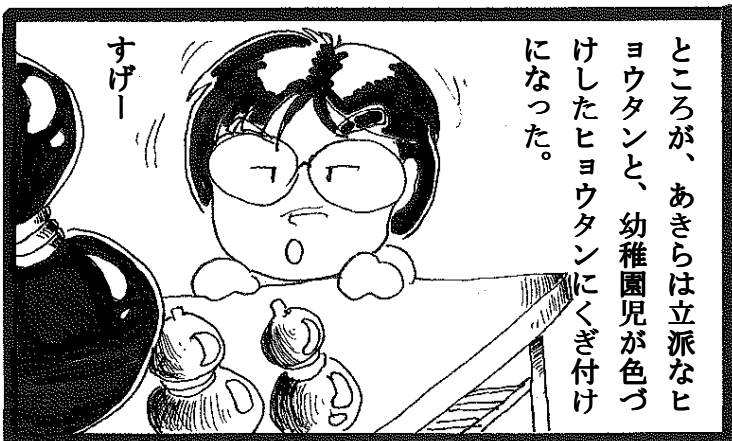
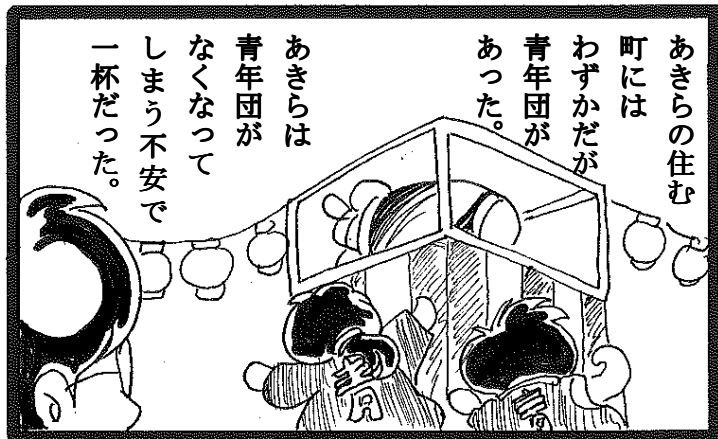
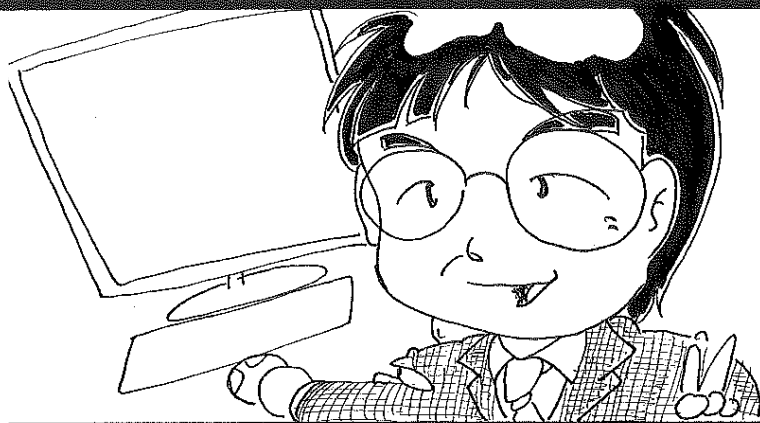
公益活動推進委員会

青年団 OB

あきらの場合

ヒョウタンプロジェクト

「青年団、やるといいぞ」の巻





そーか、その手が
あったか・・

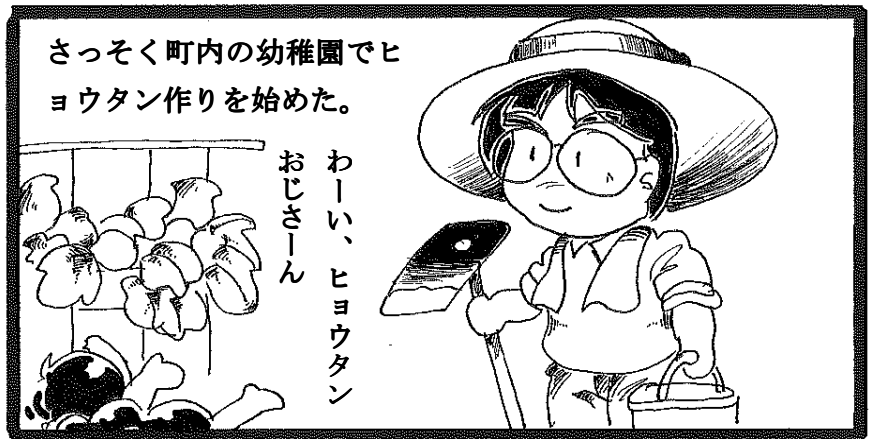
あきらはひらめいた！



ヒョウタンの葉っぱで
窓をおおうと部屋が涼
しくなるエコな植物な
んじゃ



ヒョウタンの収穫の時、子どもたちの
笑顔は輝いていた。だが、あきらの本
当の狙いはこの後にあった・・

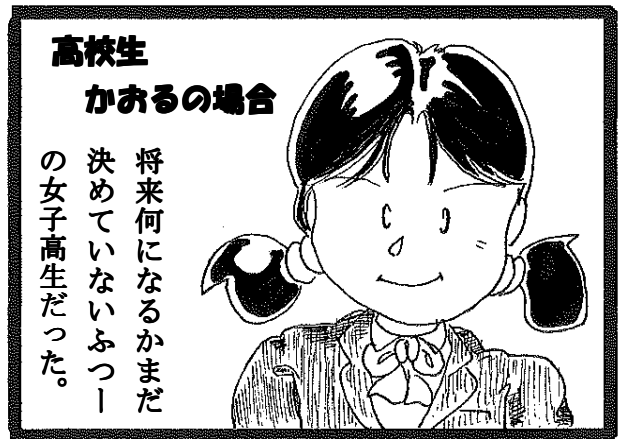


さっそく町内の幼稚園でヒ
ョウタン作りを始めた。

わーい、ヒョウタン
おじさん

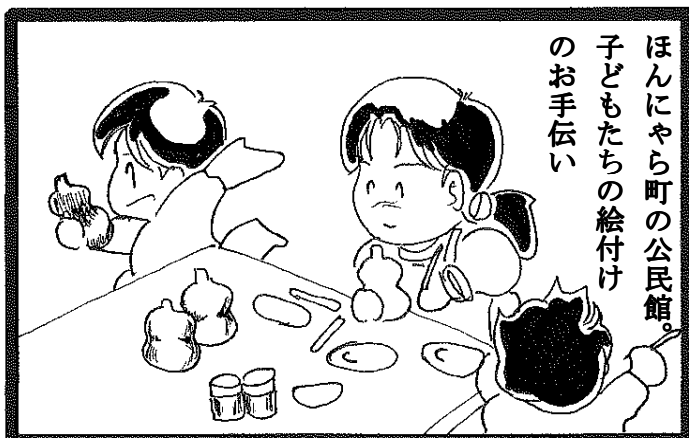


ほんにやら町からボランティアの依
頼があったぞ。

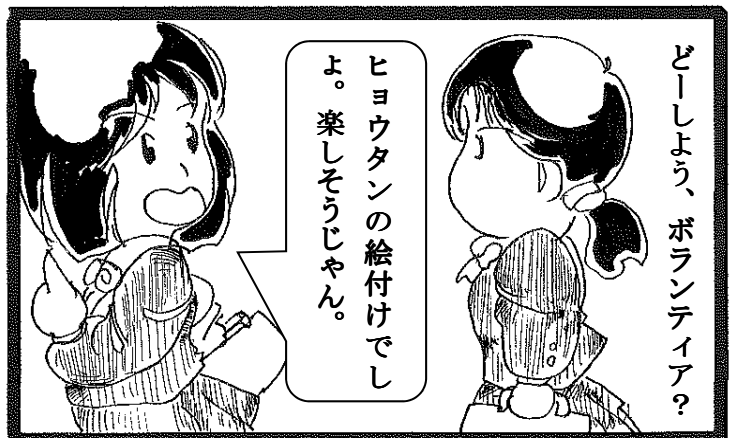


**高校生
かおるの場合**

将来何になるかまだ
決めていないふつー
の女子高生だった。



ほんにやら町の公民館。
子どもたちの絵付け
のお手伝い



ヒョウタンの絵付けでし
よ。楽しそうじゃん。

どーしよう、ボランティア？

ヒョウタンおじさんこと
あきらのあいさつ



絵付けしたヒョウタン
は近くの老人ホームにプ
レゼントします。

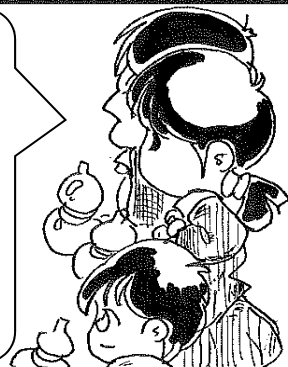
目が回る忙しさだった。



かおるは青年団のお兄
さんお姉さんと子ども地
もたちの絵付けを
手伝った。



そしてクリスマス



メリークリスマス。おじ
いちゃん、おばあちゃん。
元気でいてください。

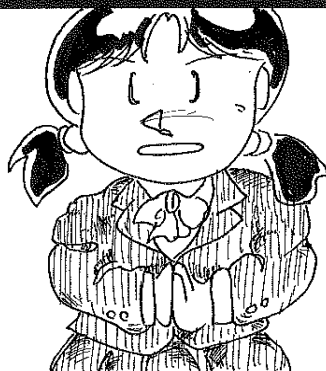
絵付けされたヒョウタン
がプレゼントされた。



園児のプレゼントに涙を
流すおじいさんもいた。

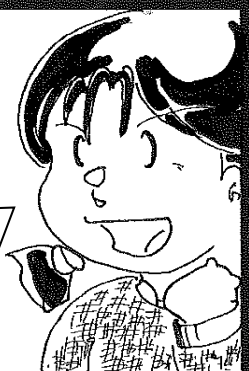


そんな光景を見ていたかお
るは感動していた。子ども
と、高校生、若い青年団、
お年寄りとの・・・そして



地域のふれあいがここにあ
る。「青年団ってすごい」と
感じるかおるだった。やが
てかおるは青年団に入る。

定例会、始めるわよ・・・



それから3年・・・保母を目
指すかおるは青年団のリ
ーダとなっていた

ご覧いただいたみなさへ

県内のとある町で・・・青年団のOBであ
るあきらは青年団の存続に危機感を持って
いました。そこでひよんなことから知り合った
ヒョウタンの名人の力を借りて、ヒョウタン
づくりプロジェクトを立ち上げます。

近所にある幼稚園の園舎の窓にヒョウタン
で覆い、節電に貢献しようとなりました、園児
から「ヒョウタンおじさん」と呼ばれるあき
らは、ヒョウタンの絵付けを青年団と近くの
高校の生徒と取り組みます。

そして、絵付けされたヒョウタンは近所の
老人ホームのおじいさんおばあさんに、子ど
もたちからプレゼントしました。園児からの
プレゼントに涙を流すおじいさんや、手を合
わすおばあさんもいました。

こうした光景は青年団員や高校生にも大き
な感動を与えました。やがてかおるは大学生
となり、地元青年団のリーダーに育ってい
ます。彼女は青年団が、仲間を成長させ、自
らの生き方を決定付けるきっかけとなったこ
とから、青年団の持つ「ちから」を信じるよ
うになっていったのです。

あきらまかおるも、自分が味わった青年団
の感動をできるだけ多くの仲間体験してほ
しいと、今日も頑張っています。

問い合わせ 一般財団法人 愛知県青年会館

公益活動推進委員会